

95. 大規模災害の躍簡における健康被害の要因解明と新たな提言

研究の概要

熊本地震において避難所から救急搬送された被災者を対象として、熊本医療センターや他の医療機関の診療録や、救急隊の診療録(プレホスピタルレコード)から情報収集を行います。また、保健所に避難者が救急搬送された避難所の状況について書面および面談に情報収集を行います。

研究の目的と方法

大規模自然災害が発生した場合、長時間におよぶ避難所生活や車中泊の被災者には持病の悪化(糖尿病、高血圧、慢性心不全、慢性呼吸不全など)や新たな疾病の発生(肺血栓塞栓症、急性心筋梗塞、急性肺炎など)が危惧されます。避難所で急病人が発生した場合、通常、救急車で救急病院に搬送されるますので、消防機関の患者情報と受け入れた医療機関の患者情報を凍結すれば、避難所から救急搬送された患者の詳細な検証が可能です。本研究では平成28年熊本地震の発災後に地域の避難所から救急搬送された被災者を対象に健康被害の発生状況や転帰を詳細に調査し避難所の生活環境も加味して発症要因を分析し、避難所における健康管理に有用な新たな指針を作成することを目的とします。

本研究の参加について

本研究は、既存の診療録から個人情報を含まない情報を収集し研究に利用されますので、個別に研究対象者に同意を取得しませんが、このページをご覧になり研究参加の拒否の意志がある方は下記の問い合わせ先までご連絡いただければ、その方のデータは使用いたしません。

調査する内容

熊本医療センターの診療録から収集する情報は下記の通りです。搬送日時、年齢、性別、外来転帰(帰宅先・入院先を含む)、入院病棟、入院日数、入院転帰(退院・転院・死亡)、検査の有無(血液検査、画像検査、その他の検査)、治療の有無(薬物治療、手術、カテーテル治療)、最終診断名

調査期間

研究対象期間：平成8年4月17日～平成8年11月18日

研究実施期間：倫理委員会承認後～2022年3月31日

研究成果の発表

日本災害医学会、日本救急医学会やその他の関連学会などで発表されます

研究代表者

熊本大学病院災害医療教育研究センター 教授 笠岡俊志

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長 原田正公

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 救命救急センター長 原田正公

TEL: 096-353-6501